

# 促成栽培ナスにおける増収効果の高い日の出後CO<sub>2</sub>施用

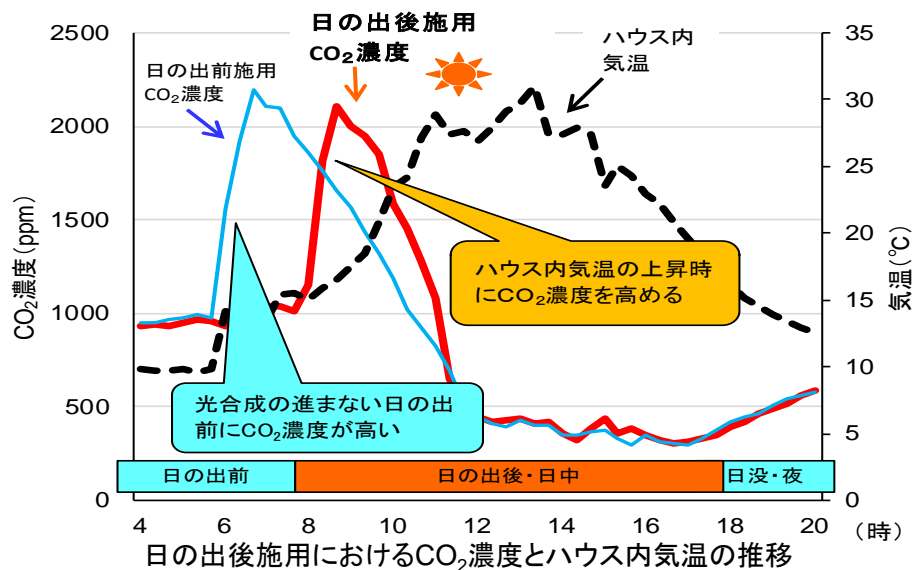
ハウス内気温が高まる日の出後からCO<sub>2</sub>を施用することで、ナスの収量を大幅に増やせるCO<sub>2</sub>施用技術

## 研究開発の背景

- ・増収を目的として、光合成を促進するCO<sub>2</sub>施用装置を導入する生産者が増えている。しかし、現状のCO<sub>2</sub>施用は光合成の進まない日の出前から実施しており、増収効果が十分に発揮されていない。
- ・そのため、増収効果の高いCO<sub>2</sub>施用法の開発が求められている。

## 研究成果の内容

### ハウス内気温が高まる日の出後からCO<sub>2</sub>を施用することで増収

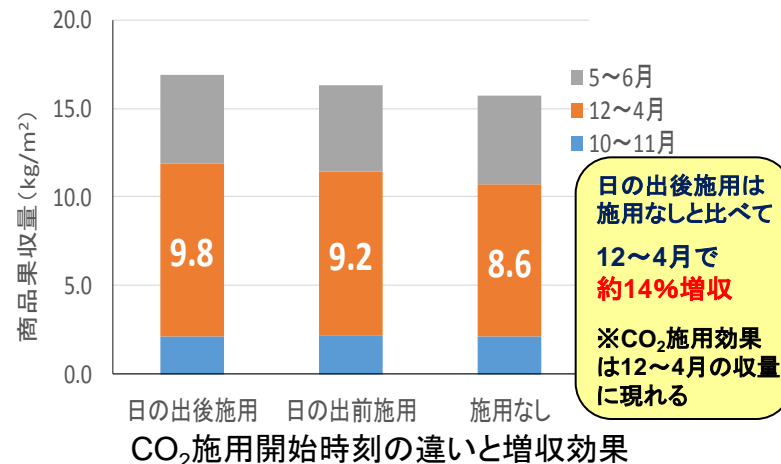


12～3月の間、CO<sub>2</sub>の施用開始時刻を日の出後に設定することにより、**午前中の光合成を促進**することができる。

## 期待される効果

- ・ナス等の促成栽培における収益力の向上に寄与。

開発機関：福岡県農林業総合試験場筑後分場【予算区分：県単独予算】



CO<sub>2</sub>施用開始時刻の違いと増収効果

### 日の出後CO<sub>2</sub>施用による増収効果および経費の試算(千円/10a)

収入増	経費	収益増
439	205	234
12～4月で1.2kg/m <sup>2</sup> の増収 単価366円/kg	減価償却費 43 燃料費 22 販売経費 140	

光合成促進装置約30万円(耐用年数7年)、12～3月まで1時間/日施用

導入をオススメする対象  
促成栽培を行うナス生産農家